

300本のサルビア咲く



4月17日（金曜日）、倉吉市横田地内の県道と農道が交わる交差点の一角で、久米ヶ原環境保全協議会が主催する花壇の植付が行われました。植え付けられたのは約300本の鮮赤なサルビア。

当日は、改良区理事長、職員、協議会関係者の総勢約10名が参加し、青空の下、気分も晴れ晴れしく作業に取り組んでおられました。

この度の植付けは、農村環境向上活動に挙げる環境美化活動の一環であり、今後もこの花壇中心には芝を植付予定とのことでした。

